



# 若基小だより

第13号 令和3年1月13日  
文責 校長 本村 一浩

## ■ 雪の3学期スタート！ 6年生は残り46日、在校生は残り49日

明けましておめでとうございます。冬休み中、児童の大きなけがや事故、コロナ感染の報告などはなく、とりあえず「ホッと安心したところ」です。しかしながら3学期のスタートと期を同じくして列島に強い寒波が押し寄せ、数年振りの積雪となりました。北陸めかけは上越地方からすれば、何ということもない降雪量なので（よすが、雪は9日（土）まで残り、車を動かすのも（めらわ）れる状況だったのでは？ 子供たちや保護者様におかれましては、大事なお子（こ）はどうか？



↑ 雪をかき集めて作った雪だるまです。伝わるでしょうか？

8日（金）午前中、学校での子供たちは雪合戦、雪だるま作りなど、寸暇を惜むように（ふ）りの雪を楽しんでおりました。2週間振りの子供たちの元気な姿と笑顔に接し、職員一同、うれしくなりました。3学期はわずか3か月、あっという間です。土日を含めないと登校するのはあと50日不足です。残り少ない日数ですが、1年間の総まとめとして次の学年に、また中学校につながるために、しっかりと目標を見据えてがんばらせてまいります！



↑ 外でもちゃんとマスクをして雪遊びに興じる5年生です。

## ■ 教職員の指導に関するアンケート結果報告（11月中旬実施、児童230名に対し、227名の児童・保護者が回答）

	回 答	回答数	前回調査 (6月)
①	「お子さんが体罰を受けたことがある」	0名	0名
②	「お子さん以外の児童が体罰を受けているのを見た・聞いたことがある」	0名	0名
③	「お子さんが、体罰とは思わないが、行き過ぎではないかと思われる指導を受けたことがある」	2名	3名
④	「お子さん以外の児童が、体罰とは思わないが、行き過ぎではないかと思われる指導を受けたことがある」	0名	4名

ご指摘をいただいたものについては、児童や担当教職員に事実確認を行った上で、当該教職員に対して、また、教職員全員に厳しく指導を行いました。その上で保護者様にも報告をいたしました。ご回答、ありがとうございました。

③、④の具体的な例（教職員や個人が特定できないよう、表現は若干変えています。）

設 問	事案の概要と→その後の指導
③-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○年生の担任の先生から、別の学年の児童と一緒に仕事をするように言われ、伝えたが、その児童が「嫌だ。」と言ったため、そのまま先生に伝えたところ、「1人でやればいいじゃないか！」とキレ気味で言われたらしい。指導としてはどうかと思います。怒るところが違うのではないのでしょうか。</li> <li>→ 児童と該当の教職員に聴き取りをして、クラブの時間にほぼご指摘のような事案があったことが分かりました。該当の教職員は反省し、謝罪をしたいと申しまして、校長室にて私の立ち会いの下、筋違いの叱責であったこと、強く言ってしまったことを該当児童に謝罪しました。</li> </ul>
③-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会体育で厳しい指導を受けたこと。</li> <li>→ 該当の保護者様と面談し、状況を聴き取りました。小学生にとっては厳しい言葉を掛けられ、ストレスを感じたとのことでした。校長から該当指導者に伝えましょうかとうかがったところ、遠慮されました。</li> </ul>
その他1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体罰だとは思っていませんが、子供が頑張って発言したこと・挑戦したことに対し、冷たい言葉で返されることがあるのでは、と感じています。軽い気持ちで返された言葉かも知れませんが、先生の言葉というものは、子供の心にストレートに響くので、深く傷ついている子供もいると思います。</li> <li>→ 詳しい状況が分からなかったので、児童と保護者様に実際の状況を聴き取り、その内容を該当の教職員に伝えました。その教職員は、「冷たい言葉」と受け取られるのは、自分の伝え方が下手だから、と反省し、今後気を付けて指導に当たりたい、と申ししておりました。</li> <li>教師が子供に掛ける言葉は、認め、ほめ、励ます内容であってほしいですし、子供たちは、掛けてもらった言葉を胸に、自己有用感をもって成長してほしいと願っています。状況によっては、厳しく叱ることもありますが、私たち教職員が子供に掛ける言葉は十分配慮をし、気を付けるよう、教職員全員に指導しました。</li> </ul>
その他2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回、回答したアンケートをまとめた分を配布していただき、とても興味深く読みました。行き過ぎではないかと思われる指導をした先生が、その後同じようなことをしていないか、改善が見られたか、とても知りたいです。</li> <li>→ まず、今回のアンケートでは、体罰の指摘は0件（今年度6月：0件）で、「体罰とは思わないが、行き過ぎではないかと思われる指導」が2件（今年度6月：7件）でした。指摘された件数も減っておりますし、同じ教職員が同じような指摘を受けている事例もありません。また、4月当初から、校長は毎日1回以上、教頭は週1回以上、校内の各学級を巡回しており、指導教諭は出授業や出張の補助等で頻繁に各教室に向わっております。普段から気になる学級や教職員、児童については情報共有を心掛けておりますが、このほど改めて3人の意見を突き合わせたところ、1学期から2学期にかけて、行き過ぎと思われる指導を見かけたことはありません。6月に指摘を受けた教職員は、その後、児童の人権を尊重して教育活動に勤しんでおり、改善されていると感じています。</li> </ul>

このアンケートでいただいたご意見を真摯に受け止め、よりよい教育実践へとつなげていきたいと考えています。アンケートで指摘を受けた教職員や児童の名前は公開しませんが、いただいたご意見は隠さず公表し、教職員には反省を促した上で問題点を共通理解し、保護者様には再発防止を誓っていく所存であります。今後とも、お気付き等ありましたら、担任を通して、または管理職に直接ご連絡下さい（92-0410）。よろしくお願いいたします。